

21世紀の贅沢は素材・自然にこだわって暮らすこと

人生を変える「終の家」



上/天井や床から建具や造作家具まですべて国産の無垢材を使い、優れた職人と大工の手でつくられたS邸。写真はリビングダイニングキッチン。右手の障子の外には小川が流れる庭、左の障子の奥には茶室がある(次ページ)。インテリアやアートはシンプルかつモダンなものを選び、現代の暮らしになじむ、軽やかな心地よさを演出。左/しばし見惚れてしまうほど美しいエントランス。水平に延びる平屋根のラインは、まさに天下一品の建築美!

玄関の扉をあけた瞬間、森のように清涼な空気と優しい木の温もりに包まれる、神奈川県S邸。それは、年月を重ねて味わいを深める無垢材の家。ニッポンにはこんなにも贅沢な暮らし方があったのか、と惚れ惚れする、「生涯かけて愛せる住まい」です。撮影/木田勝久 構成/輪湖雅江